

鎌ヶ谷市施策評価表(事後)

施策の名称	231交通安全の推進		
施策のねらい (めざす姿)	子どもや高齢者、障がい者を含めたすべての人が安心して快適に通行できる交通環境になっています。		
基本目標	2「自然と社会が調和する環境共生都市」をめざして	施策担当マネージャー	都市建設部次長
政策	23安全に暮らせる社会システムをつくります	マネージャー氏名	若泉 哲也

I 改革・改善内容(=施策をより良く実施するための方策)

①前回の評価で掲げた内容	啓発活動の強化。特に高齢者のための安全教室の継続開催。さらに、自転車利用者のための安全教室の開催。	③改革・改善内容	特に高齢者の交通安全対策を進める必要があることから、関係機関との連携を強化し対策を実施していく。
②①に基づく取り組み結果	啓発活動強化として交通安全鎌ヶ谷市民大会の内容の充実を図るとともに、高齢者の交通安全対策として、高齢者交通安全教室の開催と地域の高齢者交通安全のリーダーに対する研修会の開催を行った。また、自転車利用者に対しては、小学生を対象とした自転車安全教室を開催した。		

II 施策の目的・概要

①目的	対象	市民、交通安全施設	意図(対象をどうするのか)	交通安全意識の高揚、交通安全施設の整備と保全
②施策の概要	市民に交通安全に対する啓発を行うとともに、歩道等整備総合計画に基づき、歩行環境の整備・改善・維持管理を行う。			
③環境分析(状況変化や今後の見込み・市民意向など)	高齢者が加害者となる交通事故が社会問題となっている。また、生活道路の交通安全対策について、市民の要望は高い。			

III 事務事業の成果やコストの状況

①平成27～28年度の施策の成果	交通安全市民大会や児童生徒及び高齢者向けの交通安全教室の開催などの啓発活動や、警察と協力しゾーン30などの指定を行った。指標においては改善方向にある。						
②施策成果指標	指標名称		単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	目標値(32年度)
	i	交通事故発生件数	件	440	415	299	349
	ii	人口千人当たりの交通事故死傷者数	人	4.6	4.6	3.2	3.8
	iii						
③基本事業成果指標	i	交通安全運動及び交通安全教室参加者数	人	3,857	3,961	3,900	5,500
	ii	道路反射鏡整備・保全個数	基	26	18	20	115
	iii	道路区画線整備・保全距離	km	6.3	2.3	2.9	25
	iv	道路標識・交通看板整備・保全個数	基	52	64	4	285
	v	交通安全対策満足度	%	—	—	—	18.0
	vi	千葉県交通災害共済加入率	%	3.6	3.6	3.1	4.7
	vii						
	viii						
	ix						
④施策の事業費	平成27年度決算	平成28年度決算	市民一人あたり事業費(28年度決算)		平成29年度予算		
事業費(千円)	54,084	97,489	(単位:円) 893円		77,613		

IV 評価・検討

①課題(目的に対する現状など)	道路拡幅による歩道設置には多くの時間と費用が必要なため、早期の対策として、安全施設の設置による歩行空間確保の対策箇所は増加が想定される。高齢者が加害者となる交通事故が社会問題となっている。		
②総合評価	2概ね達成	③総合評価の理由	各種施策の展開により、交通事故死傷者数は減少傾向にある。

V 今後の方向性

①成果の方向性	↑ 向上	②コストの方向性	↑ 増加
③特に重点化する事務事業	歩道等整備事業		
④上記方向性の説明	歩行者の安全対策には市民の要望も大きく、早期に可能な対策として、安全施設の整備を実施していく必要がある。		